

東海3県の「道の駅」

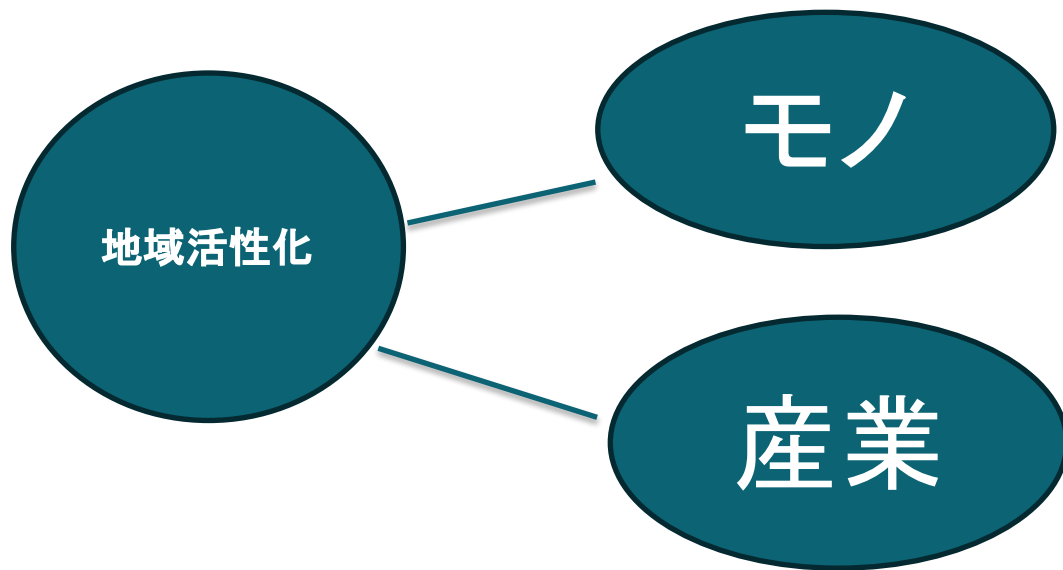
中京大学総合政策学部 大森達也ゼミ
飯田陽大・伊藤駿・鯉江来夢・早川功祐・森美沙希





研究動機①

地域を活性化するためには、その地域のモノ、産業を活用させることが重要





地域振興のための第三次産業（サービス業）

「地域経済の活性化には、サービス業の活性化が欠かせないテーマとなる」

出典：内閣府発行『地域の経済2005』（https://www5.cao.go.jp/j-j/cr/cr05/chr05_1-2-2-1.html 2025.8.1閲覧）

「サービス産業の GDP、雇用のシェアは7割程度を占める重要な産業」

出典：内閣府発行『サービス産業の生産性』（https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/future/wg1/0418/shiryou_01.pdf 2025.8.1閲覧）

第三次産業（サービス業）は地域振興の手段として注目されている



研究動機②

道の駅の設置による効果

○地域産業の活性化

○地域の知名度の向上などが挙げられる

→道の駅を建設することで地域振興できる可能性があるのではないか

出典:大泉剛・安藤昭・佐々木栄洋・赤谷隆一(1994)

「82. 東北地方における道の駅の現況および地域振興効果の計測について」都市計画論文集487-492

なぜ地域振興の手段として道の駅を選んだのか

理由

地域振興に活用できる複数の機能や施設が一体となっているのが「道の駅」

出典：藤沢研二「地域の観光振興と「道の駅」の果たす役割」江戸川大学紀要

Vol. 28 p.441-448

〈道の駅 設置されている施設例〉

1. 農産物直売所
2. 温泉、入浴施設
3. 観光交流センター
4. 体験施設(陶芸・農業・漁業など)
5. 防災拠点
6. レストラン・カフェ(地元食材活用)



ロックガーデン・ひちそう 撮影：グループメンバー

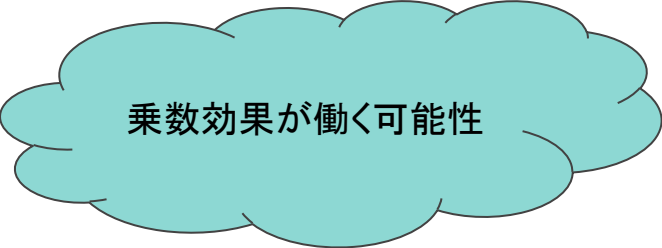


もつくる新城 撮影：グループメンバー



私たちが考える道の駅の可能性

- ①道の駅に投資する(特産品を利用した販売、体験型施設の設置)
- ②道の駅の利用者数が増える
- ③人手が必要になる
- ④生産者・従業員・管理者等に新たな雇用が発生する
- ⑤所得が増加する
- ⑥地域の消費が増加する
- ⑦地域が振興する



乗数効果が働く可能性

道の駅 登録条件

○休憩機能

- ・利用者が24時間利用できる

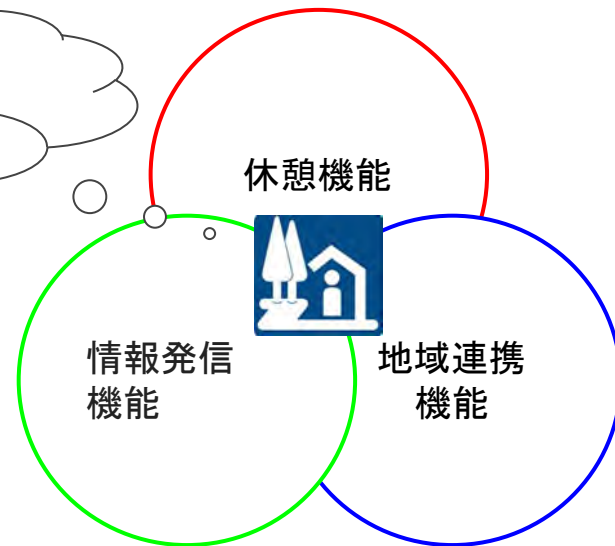
○情報発信機能

- ・道路及び地域に関する情報提供

○地域連携機能

- ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの
地域振興施設が含まれる

地域とともにつくる
個性豊かな
にぎわいの場



災害時は
防災機能を
発現

休憩機能の特徴

駐車場



もつくる新城

出典:GoogleMap(2025.07.17閲覧)

トイレ



日進まちテラス

撮影:グループメンバー

休憩所



もつくる新城 撮影:グループメンバー

情報発信機能の特徴

情報コーナー



道の駅とよはし 撮影者: グループメンバー



もつくる新城 撮影者: グループメンバー



地域連携機能の特徴

体験型イベント



道の駅とよはし 撮影:グループメンバー

旧暦七タイイベント



もつくる新城 撮影:グループメンバー

利用者の要望収集



東海3県に絞る理由

・車で移動する人が多い

通勤時の車の利用率	
愛知県	約46.5%
岐阜県	約71.0%
三重県	約47.7%

出典:『令和2年国勢調査』(総務省統計局(<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html> 2025.8.4閲覧))

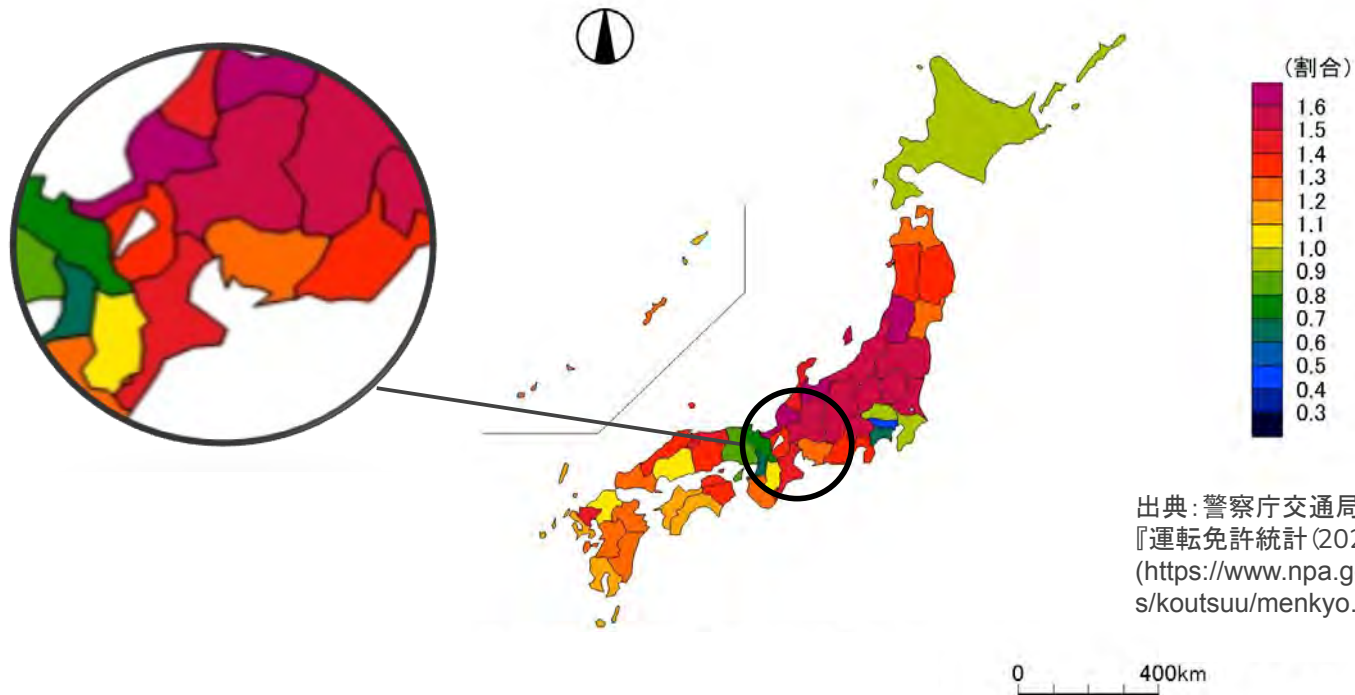
・自動車保有台数が多い

自動車保有台数	
愛知県	5,388,203台
岐阜県	1,696,069台
三重県	1,534,492台

出典:『自動車保有台数』(自動車検査登録情報協会(<https://www.airia.or.jp/publish/statistics/number.html> 2025.8.4閲覧))

自動車保有率:東海 3県上位

全国世帯あたり自動車保有率(2023)



出典:警察庁交通局運転免許課発行
『運転免許統計(2023)』
(<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/menkyo.html> 2025.8.4閲覧)

東海三県の道の駅の現状

県	道の駅の数	全国ランキング	2023年 平均来場客数(万人)
岐阜県	56	2位	57.7205
愛知県	18	29位	23.6612
三重県	18	29位	20.2367
合計	92	-	101.6184

実際に使用できた
データは合計 **73**



参考にしたデータ(東海三県の道の駅の現状)

○道の駅の数

国土交通省 道の駅案内「道の駅一覧」

(<https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/list.html> 2025.8.8閲覧)

○道の駅の数全国ランキング

国土交通省 道の駅案内「道の駅一覧」

(<https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/list.html> 2025.8.8閲覧)より集計

○2023年道の駅来場客数

岐阜県庁発行『観光統計』

(<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/13276.html> 2025.8.8閲覧)

愛知県庁発行愛知県観光コンベンション局観光振興課発行『愛知県観光レクリエーション利用者統計』

(<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/545553.pdf> 2025.8.8閲覧)

三重県庁発行『令和5年観光レクリエーション入込客数推計所』

(<https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0361200029.htm> 2025.8.8閲覧)

道の駅の問題点1

道の駅の立地間隔が狭く、
商圈が被るため、売上が低迷



出典：中部「道の駅」連絡会発行
「中部「道の駅」イラストマップ」

(http://chubu-michinoeki.org/pdf/1804stmpbook_map.pdf2025.8.4閲覧)一部抜粋

立地間隔が狭い道の駅の例(愛知)



〈愛知県〉

どんぐりの里いなぶ⇄アグリステーションなぐら 5.0km

出典: GoogleMapから抜粋 (閲覧日 2025.07.17)

立地間隔が狭い道の駅の例(岐阜)



〈岐阜県〉

織部の里もとす⇔富有柿の里いとぬき 3.17km

出典: GoogleMapから抜粋(閲覧日2025.07.17)

立地間隔が狭い道の駅の例(三重)



〈三重県〉

奥伊勢おおだい⇔奥伊勢木つつ木館 3.0km

奥伊勢おおだい⇔茶倉 :7.47km

奥伊勢おおだい⇔飯高 :8.0km

茶倉⇔飯高 :7.09km

出典:GoogleMapから抜粋(閲覧日:2025.07.17)

道の駅の問題点2

情報発信・地域連携機能の働きが脆弱

【情報発信機能】

平日はスタッフが不在
観光・道路情報質問するには
観光協会へ電話が必要

→情報発信機能の働きが脆弱



道の駅の問題点2

【地域連携機能】

展示品が置いてあるのみで、体験や地域の魅力の伝わりやすさが欠けている



ロック・ガーデンひちそう
撮影者: グループメンバー

道の駅の問題点2

地域連携機能に
体験施設も含まれる

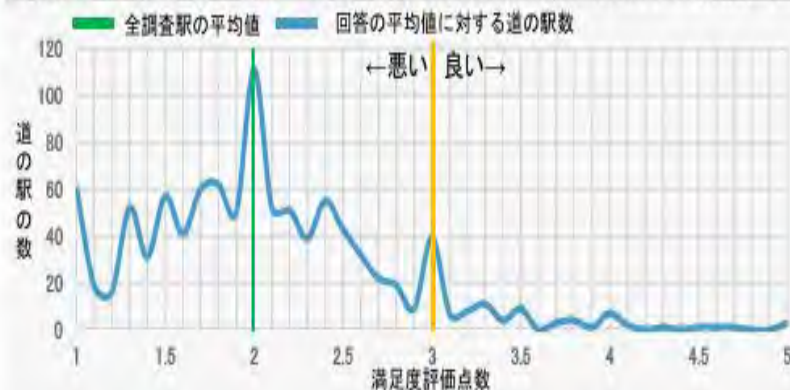
道の駅の体験施設の満足度は？

<アンケート概要>

調査対象	全国「道の駅」1,145駅
調査期間	平成30年9月15日～平成31年3月18日(約5か月間)
回答数	13,345件

・全調査駅の回答の平均値が5段階中**2**
⇒全体的に地域連携機能(体験型イベント)に関する評価は低い

①体験工房、地域の観光ツアーなど道の駅でしか体験できないものはありましたか？



道の駅の問題点3

スーパーや他の道の駅との差別化できていない

道の駅とよはし⇔たつみストアー大清水店 : 5.18km



道の駅とよはし 撮影者: グループメンバー



たつみストアー大清水店 撮影者: ゼミメンバー

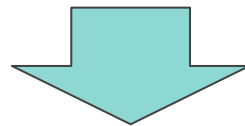
スーパーとの差別化ができていない様子

道の駅の問題点3



八丁味噌
愛知県岡崎市八丁町で生産

安城市の道の駅に、岡崎市の
特産品が販売されている



他の道の駅との差別化ができていない

道の駅 安城デンパーク

撮影者:グループメンバー

立地理論

〈ウェーバーの立地理論〉

原材料地と市場の両方を考えて工場の立地を考える枠組み

○総輸送費が最も小さくなる場所に工場を立地する

原材料地が複数ある場合 (基本的に原材料地は複数であるため複数の場合のみを考える)

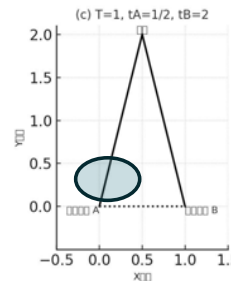
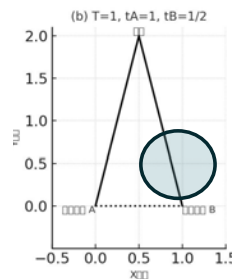
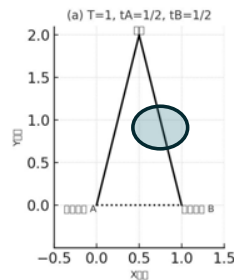
ウェーバーの三角形: 市場と2つの原材料地を結んでできる三角形

【定義】

輸送費が距離に比例する

製品輸送費 = T

原材料輸送費 = T_a 、 T_b



三角形の中に最も総輸送費が小さくなる場所がある

縦軸: 市場の距離
横軸: 原材料地の距離



人口が多い都市から近い道の駅は 来場客数が増加するのではないか

人口重心地点の距離と道の駅の来場客数(2023)で単回帰分析を行った
〈単回帰モデル〉

$$y = \beta_0 + \beta_1 X_1 + U$$

y	道の駅の来場客数
β_0	切片
X	人口重心地点からの距離
U	誤差項
サンプル数	73(東海三県の道の駅の数)



参考にしたデータ(単回帰分析)

○人口重心地点

人口重心地点がある市の市役所から道の駅の距離(km)

- ・愛知県:名古屋市—名古屋市役所
- ・岐阜県:関市—関市役所
- ・三重県:四日市—四日市市役所

出典:手作業でGoogleの直線距離を測定

○来場客数

愛知、岐阜、三重の2023年道の駅来場客数(人)

出典:スライド15同様

東海三県「道の駅」来場者数データ(2023)

とよはし	2213229	道の駅飯高駅	319037	美並	238665	大日岳	20641
もっくる新城	957140	道の駅菰野	71236	パスカル清見	92945	桜の郷 荘川	82944
藤川宿	1230714	紀宝町ウミガメ	197201	明宝（磨墨の里公園）	357334	むげ川	147623
めっくんハウス	862312	パーク七里御浜	168671	花街道不知	276117	おばあちゃん市	491883
にしお岡ノ山	209020	海山	92935	ラステンほらど	42202	加子母	247721
伊良湖クリスタルポルト	58510	奥伊勢木つつ木館	53092	白山文化の里長滝	128223	志野・織部	506191
どんぐりの里いなぶ	375037	奥伊勢おおだい	388968	奥飛騨温泉郷上宝	141729	古今伝授の里	37414
瀬戸しなの	468100	関宿	92189	賤母	349629	和良	169255
あかばねロコステーション	307405	伊勢志摩	258360	ロック・ガーデン ひちそう	134876	東白川	80452
筆柿の里・幸田	414525	紀伊長島マンボウ	414981	星のふる里ふじはし	262140	月見の里	444046
つくで手作り村	192662	あやま	192948	道の駅平成	196386	うすずみ桜	24498
豊根グリーンポート宮嶋	127800	いが	264937	アルプ飛騨古川	183755	宙ドーム・神岡	158478
デンパーク安城	556186	津かわげ	751578	南飛騨小坂はなもも	55611	白尾ふれあいパーク	46563
鳳来三河三石	108225	熊野・花の窟	175894	夢さんさん谷汲	17710	美濃にわか茶屋	454246
		熊野・板屋九郎兵衛の里	107147	ななもり清見	238796	飛騨白山	91501
				白川郷	539031	半布里の郷 とみか	76329
				クレール平田	442147	可児ッテ	234837
				そばの郷らっせい	522802	池田温泉	265400
				飛騨街道 なぎさ	157859	清流白川クオーレ	63518
				ひだ朝日村	25415	清流の里しるとり	159648
				きりら坂下	147623	バレットピアおおの	402344
				織部の里もとす	296355	五木のやかた・かわうえ	74207

単位:人

人口重心地点の距離

三重県の道の駅名	重心役所からの距離(km)	愛知県の道の駅名	重心役所からの距離(km)	岐阜県の道の駅名	重心役所からの距離(km)	岐阜県の道の駅名	重心役所からの距離(km)	岐阜県の道の駅名	重心役所からの距離(km)
道の駅飯高駅	35.82	とよはし	70.99	美並	12.85	和良	30.6	白川郷	87.11
道の駅菟野	33.32	もっくる新城(足湯)	63.53	バスカル清見	51.66	東白川	43.73	クレール平田	33.22
紀宝町ウミガメ	116.61	藤川宿	39.45	明宝(磨屋の里公園)	40.12	月見の里(足湯)	42.43	そばの郷らっせい	41.17
パーク七里御浜	111	めっくんハウス	64.78	花街道付知	50.12	うすずみ桜	34.89	飛騨街道 なぎさ	66.07
海山	73.29	にしお岡ノ山	35.69	ラステンほらど	15.54	宙ドーム・神岡	99.05	ひだ朝日村	76.6
奥伊勢木つつ木館	40.19	伊良湖クリスタルポルト	67	白山文化の里長滝	48.17	白尾ふれあいパーク	43.83	きりら坂下	56.43
奥伊勢おおだい	37.8	どんぐりの里いなぶ	54.61	奥飛騨温泉郷上宝	98.84	美濃にわか茶屋	6.52	織部の里もとす	22.64
関宿	18.17	瀬戸しなの	20.27	賤母	58.16	飛騨白山	75.45	大日岳	54.75
伊勢志摩	46.44	あかばねロコステーション	67.18	ロック・ガーデン ひちそう	18.29	半布里の郷 とみか	6.16	桜の郷 荘川	58.62
紀伊長島マンボウ	55.78	筆柿の里・幸田	40.4	星のふる里ふじはし	42.12	可児ッテ	18.17	むげ川	6.15
あやま	34	つくで手作り村	51.63	道の駅平成	9.53	池田温泉(足湯)	33.53	おばあちゃん市	39.84
いが	26.92	豊根グリーンボート宮嶋	70.26	アルプ飛騨古川	84.31	清流白川クオーレ	29.45	加子母	47.63
津かわげ	9.13	デンパーク安城	29.41	南飛騨小坂はなもも	59.24	清流の里しろとり	43.23	志野・織部	26.96
熊野・花の窟	99.71	鳳来三河三石	71.44	夢さんさん谷汲	30.31	バレットピアおおの	27.02	古今伝授の里	35.62
熊野・板屋九郎兵衛の里	107.02			なまもり清見	74.42	五木のやかた・かわうえ	54.17		

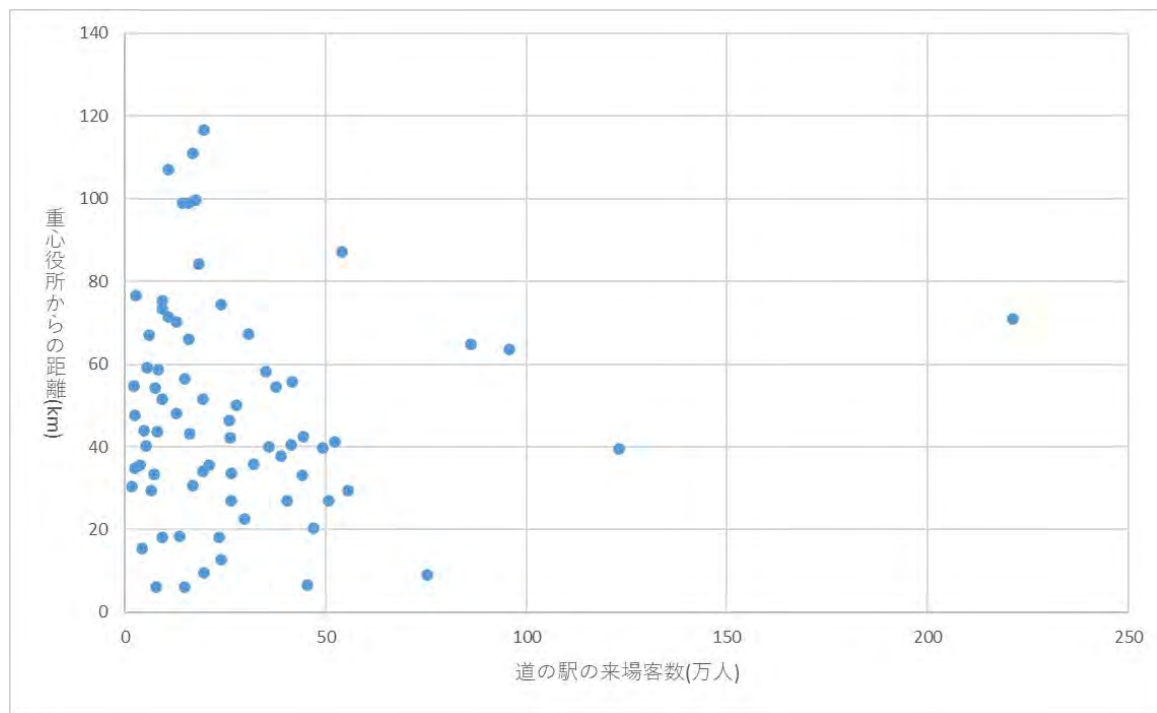
単回帰分析

〈回帰式〉

$$y = 28.73352 - 0.01251x$$

t値: -0.08497

補正R²: -0.01398



有意ではない



なぜ重回帰分析につながったのか

単回帰分析では有意な結果を得ることができなかった

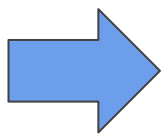
→道の駅の来場客数には他の要素が影響しているのではないか

道の駅の3つの機能に着目し、重回帰分析を行う



重回帰分析

- 休憩機能＝駐車可能台数、トイレ、レストラン、温泉、公園
- 情報発信機能＝観光案内の有無、物産販売コーナー
- 地域連携機能＝観光地数、観光地入れ込み客数、体験型施設



それぞれ回帰分析を行う



参考にしたデータ

○駐車可能台数、トイレ、レストラン、温泉、公園、観光案内、物産コーナー、体験型施設

出典：国土交通省発行 公式ホームページ 全国「道の駅」連絡会

(<https://www.michi-no-eki.jp> 2025.6.10閲覧)

○観光地数、観光客入れ込み数

・愛知県 出典：観光レクリエーション利用統計 2023年度

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kanko/recreation.html> 2025.6.10閲覧)

・岐阜県 出典：岐阜県庁発行 令和5年度観光入込客統計調査

(<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/403542.html> 2025.6.10閲覧)

・三重県 出典：令和5年観光レクリエーション入れ込み客数推計書・観光実態調査報告書

(<https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0361200029.htm> 2025.6.10閲覧)



休憩機能の回帰分析

重回帰モデル: $y = \beta_0 + \beta_1 X_1 + \beta_2 X_2 + \beta_3 X_3 + \beta_4 X_4 + \beta_5 X_5 + U$

y	道の駅の来場客数
β_0	切片
X_1	温泉併設の有無
X_2	駐車可能台数
X_3	トイレ
X_4	公園
U	誤差項
サンプル数	73(東海三県の道の駅の数)

休憩機能の回帰分析

重回帰式: $y = 9.0433757 - 8.70264 \times \text{温泉併設の有無} + 0.257298 \times \text{駐車可能台数}$
(-0.17375) (10.234070)

$-0.10025 \times \text{トイレ設置数} - 8.44844 \times \text{公園併設の有無}$ ()内はt値を示す
(-0.3582) (-0.00681)

補正R2	0.6464154
------	-----------

駐車可能台数のみ1%有意



情報機能の回帰分析

$$\text{重回帰モデル: } y = \beta_0 + \beta_1 X_1 + \beta_2 X_2 + U$$

y	道の駅の来場客数
β	切片
x_1	情報案内の有無
x_2	物産コーナー
U	誤差項
サンプル数	73(東海三県の道の駅の数)



情報機能の回帰分析

重回帰式: $y = 19.35578367 + 2.047455107 \times \text{情報案内の有無}$
(0.6039521)

+ $7.501426024 \times \text{物産コーナー}$
(0.123939)

()内はt値を示す

補正R2	-0.0229061
------	------------

有意ではない



地域連携機能の回帰分析

重回帰モデル: $y = \beta_0 + \beta_1 X_1 + \beta_2 X_2 + \beta_3 X_3 + U$

y	道の駅の来場客数
β	切片
X_1	観光地数
X_2	観光地観光客数
X_3	体験型施設の有無
U	誤差項
サンプル数	73(東海三県の道の駅の数)

地域連携機能の回帰分析

重回帰モデル:

$$y = 17.36451 + 2.488759 \times \text{観光地数} + 0.034466 \times \text{観光地観光客数} - 8.35845 \times \text{体験型施設の有無}$$

(1.68161) (0.892929) (-0.73699)

()内はt値を表す

補正R2	0.029944
------	----------

観光地数のみ有意



この3つから

休憩機能は有意

情報機能、地域連携機能は有意ではない(観光地数以外)

国土交通省の定める条件通りに道の駅を作ったとしても、

⇒ **来場客数が確保できない**

考察:

別の条件を加えることで、より多くの来場者を呼び込み
地域振興につながる道の駅が実現できるのではないか

休憩機能が有意である要因

駐車可能台数、トイレ、レストラン、温泉、公園

Q.道の駅を利用される一番の目的は何ですか？

項目	回答数	構成比
休憩・トイレ	12,026	44.9%
食事・買い物	12,328	46.0%
その「道の駅」にしかない施設の利用 (入浴・体験等)	1,529	5.7%
その他	921	3.4%
合計	26,804	100.0%

出典: JAF発行(全国)「道の駅」に関するアンケート結果 2018

(https://jafnavi.jp/JAFDATA/018/enq_RoadStation.pdf 2025.8.4閲覧)



休憩機能が有意である要因

駐車可能台数、トイレ、レストラン、温泉、公園

- **長時間の滞在をしやすくするため**

→滞在時間の長さが来場価値や消費意欲を向上させる

- **家族連れ・高齢者層のニーズに対応しているため**

→公園・温泉・トイレの整備は「安心して滞在できる場所」として評価が高い

- **ドライバーにとっての利便性が高い**

→駐車場台数が多く、立ち寄りやすい

- **「目的地」として訪れる価値がある**

→「食事・休息・癒し」が一体化した複合施設

情報発信機能が有意でない要因

観光案内の有無、物産案内コーナー

- ・提供されている情報に魅力を感じられない
→観光意欲や地域への関心を喚起する力が弱い
- ・開館日や営業時間が利用者のニーズに合っていない
→利便性に欠け、効果的な情報提供が妨げられる
- ・特産品の販売は来場の「きっかけ」ではなく、
「結果」として行われている傾向 がある
→事前の情報発信が誘致の役割を果たせていない
- ・利用しやすい雰囲気や動線になっていない
→立ち寄る動機が生まれにくく、素通りされることが多い



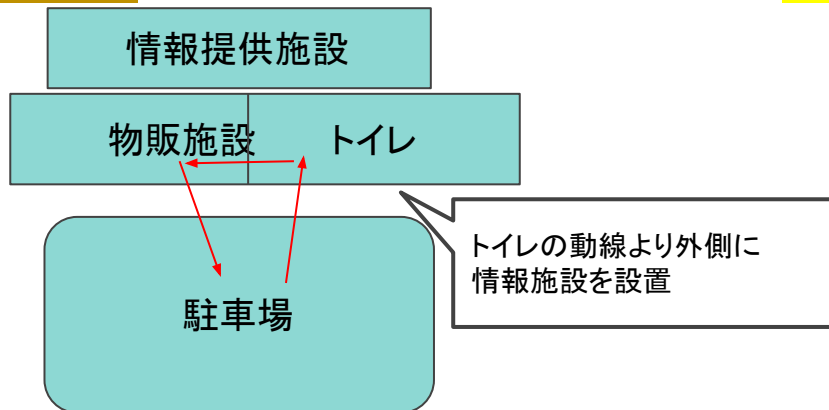
五木のやかた・かわうえ
撮影者：グループメンバー

情報発信機能が有意でない要因

観光案内の有無、物産コーナー

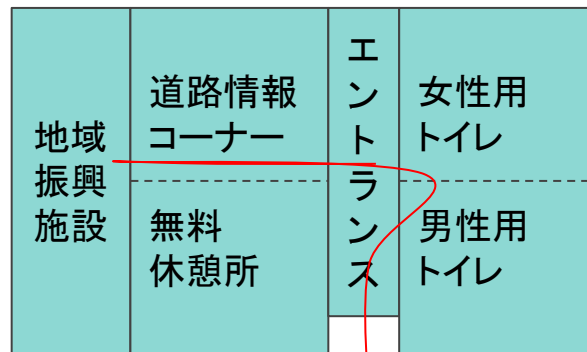
・利用しやすい雰囲気、動線ではない

悪い例



良い例

駐車場 → トイレ → 地域振興施設
自然な動線上に情報提供施設を設置



出典: 国交省発行「道の駅」情報提供機能の改善に関する
チェックポイント」(<https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/pdf/joho1.pdf>2025.7.25閲覧)

悪い動線の一例(長野)



トイレが独立している
→トイレのみの利用



情報発信機能が活用されない

道の駅 木曽福島
撮影者: グループメンバー

地域連携機能が有意でない要因

観光地入込客数、体験型施設

- ・産地直送の商品でありながら、域外のものが多く、地場産品が少ない

→地域独自の魅力が伝わりにくく、地域とのつながりを感じにくい

- ・観光地や体験型施設などに関する認知が広がっていない

→地域振興の効果を十分に引き出すための効果的な運営がなされていない

出典：岩田圭佑・大部裕次・松田泰明「「道の駅」の地域振興効果発現プロセスからみた効果的な運営手法に関する研究(2021)」p.82-86

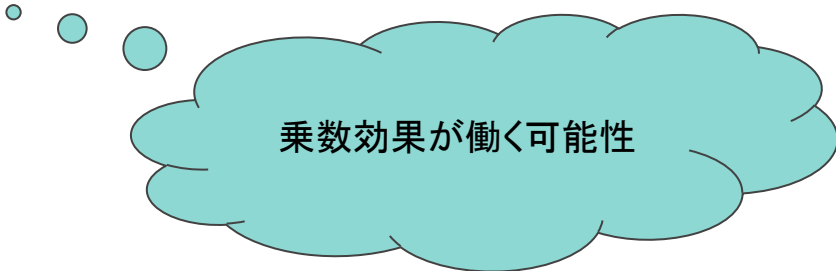


乗数効果

「観光の経済効果が農林水産、食品製造、木製品製造など村内関連産業へ波及することを期待できる」

出典：藤本高志「山村地域における観光の経済効果の計測」農林業問題研究 第40号 p124-p133

第三次産業の経済効果により農林水産、食品製造、製品製造などの産業へ波及することが期待できる。



乗数効果が働く可能性

リサーチクエスト

地域振興をするための「道の駅」の望ましい姿とは？



ハフ・モデル

消費者がその店舗を選択する確率を、「魅力度」と「距離」の2つの要素で予測する商圈分析モデル

数式表現

$$P_{ij} = \frac{S_j / T_{ij}^b}{\sum_k S_k / T_{ik}^b}$$

- ・ P_{ij} : 地点*i*の消費者が商店*j*を選ぶ確率
- ・ S_j : 商店*j*の規模や魅力（施設面積、品揃え、売上など）
- ・ T_{ij} : 地点*i*から商店*j*までの距離や時間
- ・ b : 距離抵抗パラメータ（距離の影響度合いを示す）
- ・ $\sum k$: 地点*i*の中にあるすべての商店*j*の総和



東海3県に当てはめて考える

数式表現

$$P_{ij} = \frac{S_j / T_{ij}^b}{\sum_k S_k / T_{ik}^b}$$

- ・ P_{ij} : 人口重心地点*i*の消費者が商店*j*を選ぶ確率
- ・ S_j : 各道の駅の施設面積
- ・ T_{ij} : 人口重心地点*i*がある市の市役所から道の駅距離 (km)
- ・ b : 距離抵抗係数 (今回は1,1.5,2の場合)
- ・ $\sum k$: 人口重心地点*i*の中にあるすべての商店*j*の総和



愛知県

1

1位	とよはし	19.9569
2位	藤川宿	10.4650
3位	瀬戸しなの	9.9784
～		
12位	鳳来三河三石	1.6831
13位	豊根グリーン ポート宮嶋	1.1497
14位	めっくん ハウス	1.0090

1.5

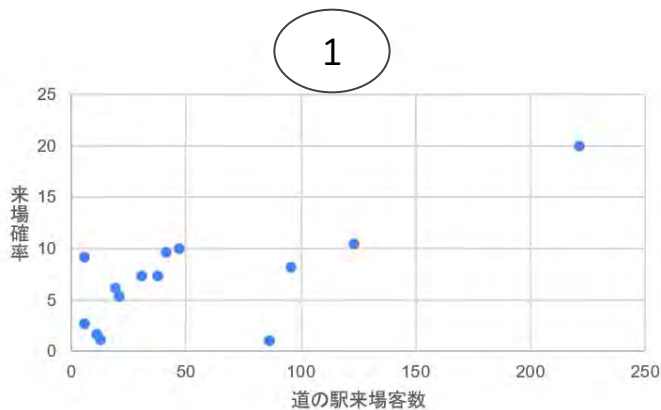
1位	とよはし	16.3409
2位	瀬戸しなの	15.2900
3位	藤川宿	11.4947
～		
12位	鳳来三河三石	1.3738
13位	豊根グリーン ポート宮嶋	0.9462
14位	めっくん ハウス	0.8649

2

1位	瀬戸しなの	22.3798
2位	とよはし	12.7805
3位	藤川宿	12.0599
～		
12位	鳳来三河三石	1.0711
13位	豊根グリーン ポート宮嶋	0.7439
14位	めっくん ハウス	0.7081

(%)

散布図(愛知)

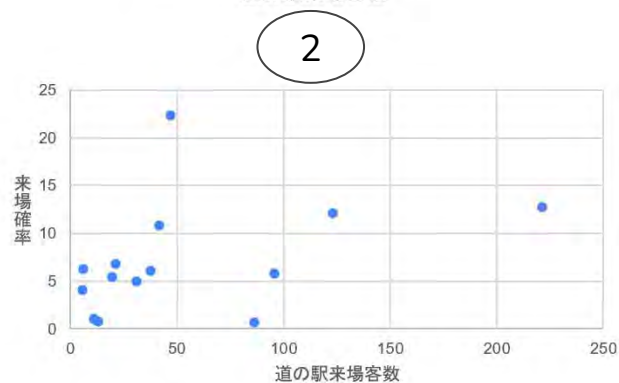
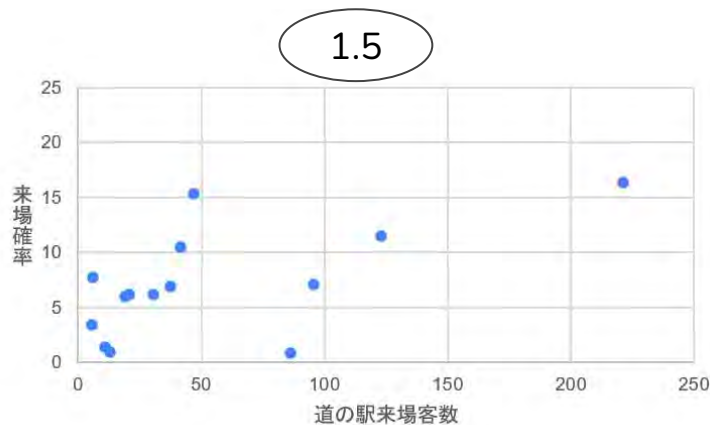


相関係数

1の場合 0.73281

1.5の場合 0.60078

2の場合 0.37772



岐阜県

1

1位	パレットピア おおの	11.8567
2位	美濃にわか 茶屋	11.1341
3位	半布里の郷 とみか	7.7599
～		
42位	池田温泉	0.2603
43位	飛騨白山	0.2329
44位	大日岳	0.0900

1.5

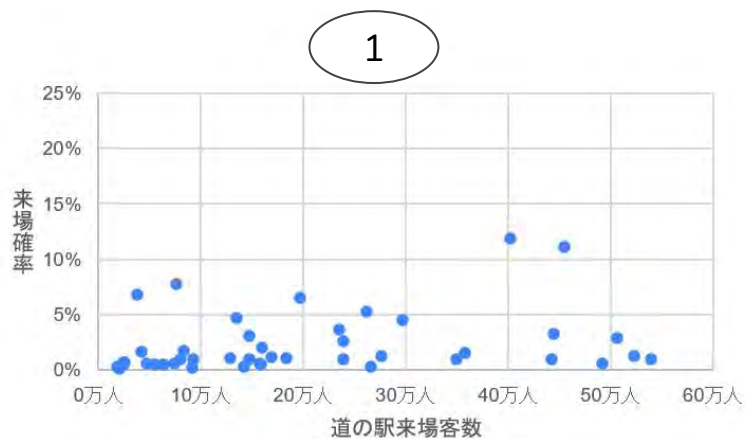
1位	美濃にわか茶 屋	18.4702
2位	半布里の郷 とみか	13.2437
3位	パレットピアお おの	9.6620
～		
42位	奥飛騨温泉郷 上宝	0.1386
43位	飛騨白山	0.1136
44位	大日岳	0.0515

2

1位	美濃にわか茶屋	26.0822
2位	半布里の郷 とみか	19.2404
3位	道の駅 平成	10.4400
～		
42位	奥飛騨温泉郷上宝	0.0502
43位	飛騨白山	0.0471
44位	大日岳	0.0251

(%)

散布図(岐阜)

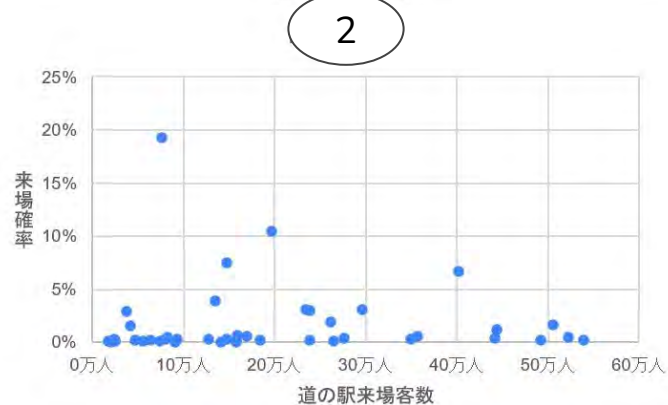
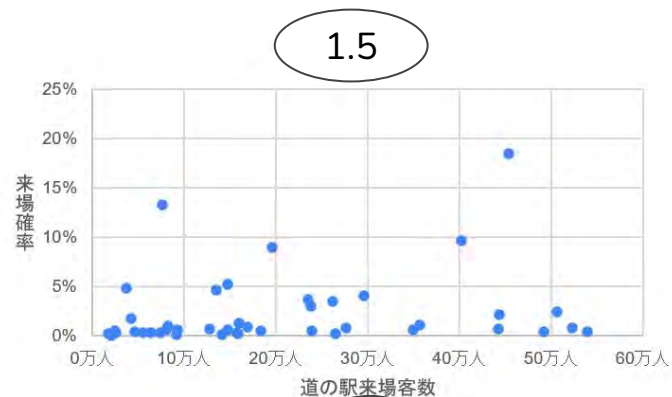


相関係数

1の場合 0.26774

1.5の場合 0.20916

2の場合 0.15935





三重県

1

1位	道の駅飯高	17.8621
2位	津かわげ	14.2508
3位	いが	13.3525
～		
13位	熊野・板屋九郎兵衛の里	1.9301
14位	海山	1.4669
15位	熊野・花の窟	0.4834

1.5

1位	津かわげ	24.9222
2位	道の駅飯高	15.7706
3位	いが	13.5990
～		
13位	熊野・板屋九郎兵衛の里	0.9858
14位	海山	0.9101
15位	熊野・花の窟	0.9858

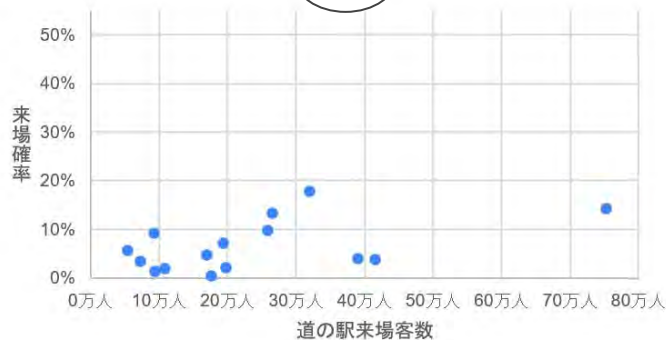
2

1位	津かわげ	55.2626
2位	関宿	14.1485
3位	道の駅飯高	10.2020
～		
13位	紀宝町ウミガメ	0.4603
14位	熊野・板屋九郎兵衛の里	0.4477
15位	熊野・花の窟	0.1204

(%)

散布図(三重)

1



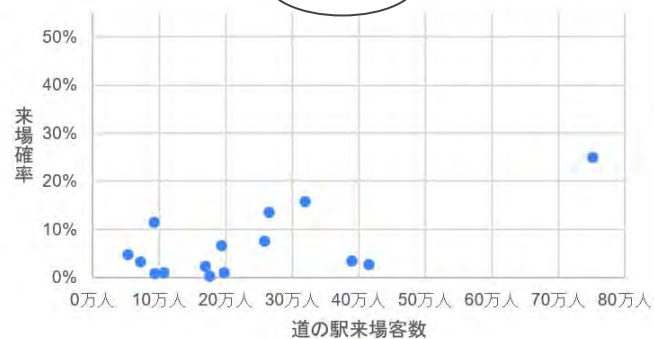
相関係数

1の場合 0.49016

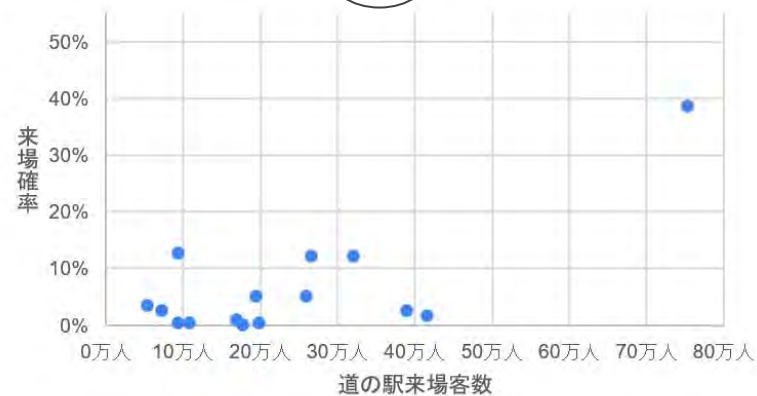
1.5の場合 0.66674

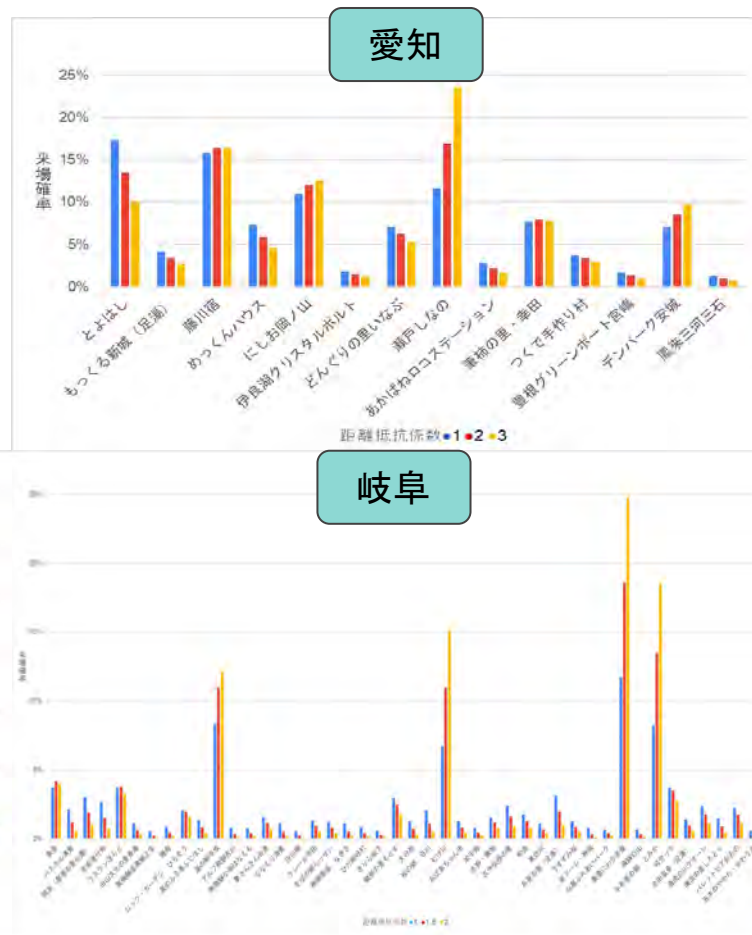
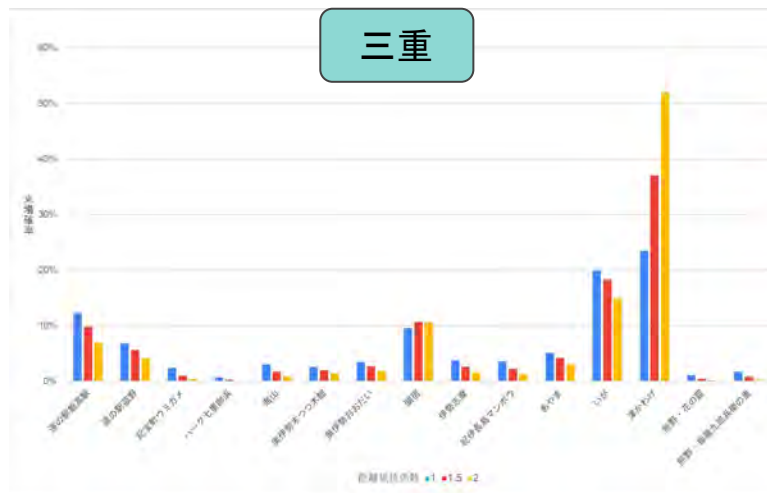
2の場合 0.74180

1.5



2







ハフモデルから上位と下位の比較

来場確率が高い駅は新しく建設されたものが多い

上位の駅には様々な施設が入り、多様化している

来場確率が低い駅は初期に建設された道の駅が多い

道の駅の目的の変化

第1ステージ(1993年～)

「通過する道路利用者のサービス提供の場」

- ・道路利用者が安心して休憩できる場を提供

第2ステージ(2013年～)

「道の駅自体が目的地」

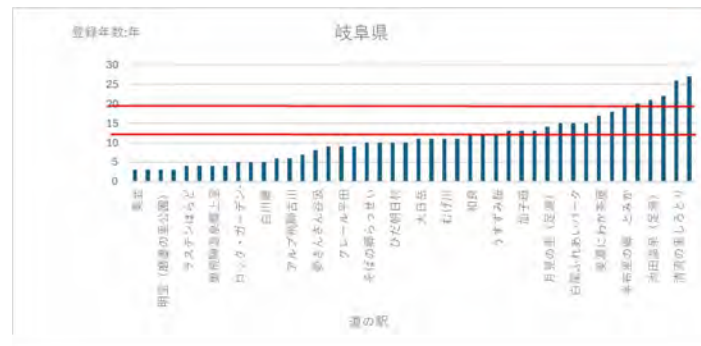
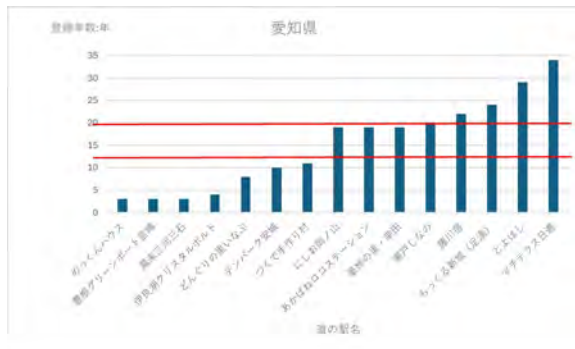
- ・地域の創意工夫により、道の駅自体が観光の目的地や地域の拠点に発展

第3ステージ(2020年～)

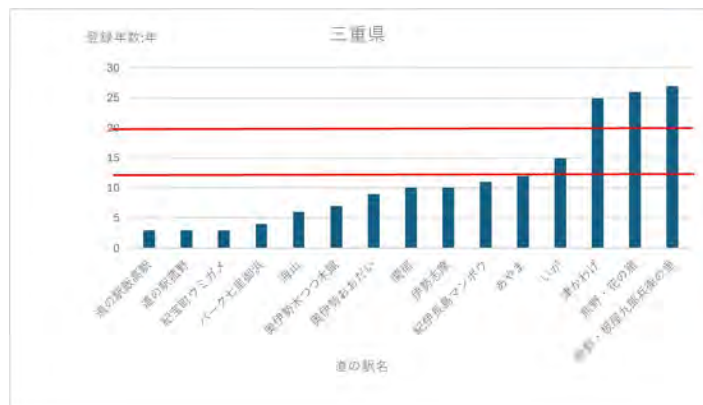
「地方創生・観光を加速する拠点」

- ・観光や防災など地方創生に向けた取り組み
- ・道の駅同士、民間企業などで地域経営の拠点として広げる。新たな魅力を持つ地域づくりに貢献

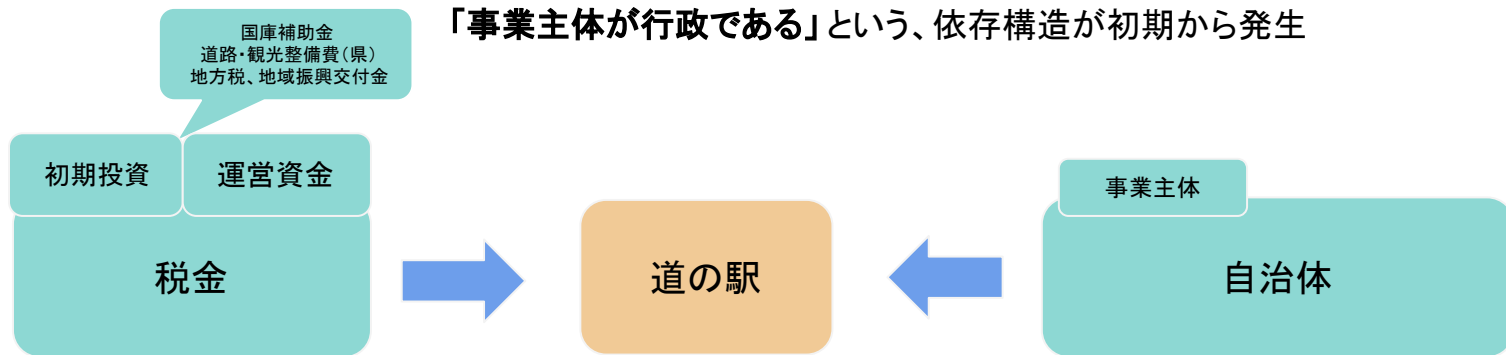
東海3県の道の駅の登録からの経過年数



1990年を0とする
赤線＝ステージの転換期
第2ステージ転換期:2013年
第3ステージ転換期:2020年



道の駅：運営の現状



運営を委託された業者や納入者は受け身となる
事業主体としての意識が希薄になる

出典：東洋経済オンライン (<https://toyokeizai.net/articles/-/58373?page=3>2025/10/06閲覧)

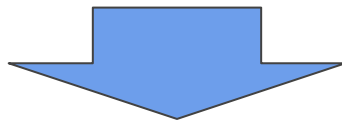


データ分析や資料から見る問題点

地域振興を目的として建設されたものが少ない

ステージ移行につれ施設充実度の上昇

行政に頼り切った道の駅の運営の現状



新しく道の駅を建設することは容易ではない

道の駅の財政状況

現在、運営中の全国1200ヵ所以上の道の駅の中で、**約3割が赤字経営**



財政状況に苦しむ道の駅が存在する

出典: ガイアの夜明け「道の駅サバイバル! ~誰のためのものか~」

[https://txbiz.tv-tokyo.co.jp/gaia/vod/post_323553?utm_source=tvtokyo_plus&utm_medium=article&utm_campaign=gaia_20250815\(2025.11.6 閲覧\)](https://txbiz.tv-tokyo.co.jp/gaia/vod/post_323553?utm_source=tvtokyo_plus&utm_medium=article&utm_campaign=gaia_20250815(2025.11.6%20閲覧))

道の駅の再建

新しく道の駅を
建設するのは
容易ではない



財政状況に苦しむ
道の駅が存在する
のが現状



道の駅を**再建**する
形で進めていく

再建する道の駅の選定

来場確率が各県全体の下位30%

サンプル数の確保のため



ハフモデルの来場確率が0.5%以上1%未満をベンチマークに設定

0.5以下の道の駅は無人の道の駅が多く、地域振興の拠点としての
役割を果たしていないと判断したため削除

選定した道の駅

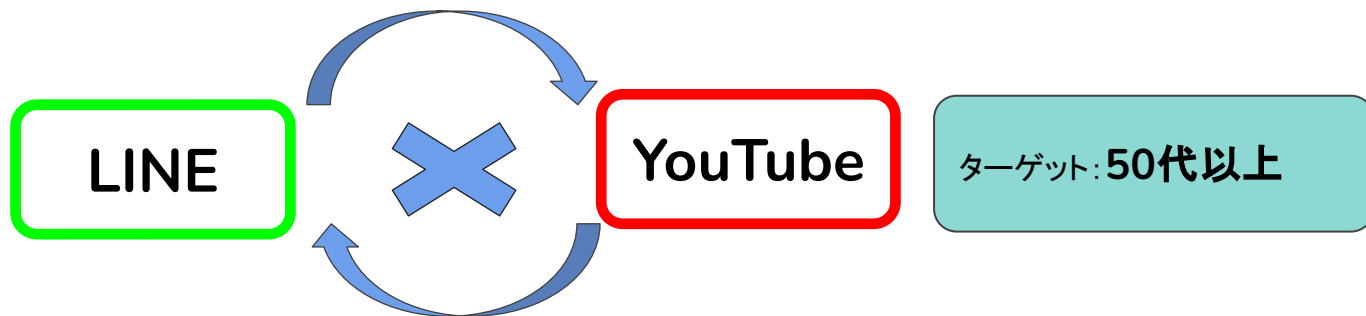
岐阜県	三重県
ひだ朝日村	熊野・板屋九郎兵衛の里
桜の郷 荘川	
加子母	
南飛騨小坂はなもも	
白尾ふれあいパーク	
東白川	
パスカル清見	
うすずみ桜	

独立している道の駅は
今回の政策では除外



出典: Google マップ (2025.10.13閲覧)

道の駅政策① SNSの運用(認知✕集客)



1 7駅合同の公式アカウントとスタンプ作成

2 共通ポイントの配布

3 Youtubeの配信・誘導

1 7駅合同の公式チャンネル作成

2 7駅の情報発信

3 LINEの公式アカウントへの誘導

具体的な実施方法

共通ポイントの配布

ポイント	500ポイント(初回限定 1000 ポイント)
有効期限	2か月
ポイント配布周期	3か月毎
利用例	7つの道の駅での支払い(商品購入・入浴代など)

シーズンごとの来場者の
確保に繋げる

プラットフォーム間の相互利用

LINE: YoutubeのURLの送付、動画更新通知
Youtube: 公式LINEへの登録URLの掲載(動画内、概要)

7つの道の駅の情報発信

施設概要、経路ルート紹介(道の駅→他の道の駅)
特産品・周辺観光地紹介

具体的な実施方法(イメージ)

LINE

〈無料公式スタンプのイメージ〉



グループメンバー作成

LINEを登録しもらうきっかけ

YouTube

〈アカウントのイメージ〉



グループメンバー作成

施設概要・特産品
周辺観光地紹介

道の駅政策②(道の駅をブランド化)

道の駅自体の魅力の向上

①リピーターの獲得

→長期的な集客を目的とする

②道の駅の認知度向上

→新規集客、利用率上昇を狙う

岐阜県	強み	活用例
ひだ朝日村	よもぎ	よもぎうどん
桜の郷 荘川	温泉	温泉
加子母	加子母トマト	トマトジュレ
白尾ふれあいパーク	六野里棚田米	おにぎり
南飛騨小坂はなもも	酒	地酒
パスカル清見	ドレッシング	オリジナルドレッシング
東白川	茶	お茶カフェ

ブランド化の具体例 : 強みを活用した商品開発

ブランド化の例 ～棚田米を使ったイベント～

現状：収穫されたお米の販売のみ（体験は行っていない）

①田植え & 収穫体験

シーズンごとに体験イベントを開催することで、リピーターの確保
自分で植えた苗を、自ら収穫で魅力の認知

②収穫したお米で手作り体験

おにぎり、五平餅、甘酒など収穫したお米を活用して体験
普段できない体験の実施で、特別感、認知度と魅力度の向上



出典：郡上市観光連盟 facebook 2025.10.24.閲覧



ブランド化の流れ

追加資料



棚田米の例





参考にしたデータ

ひだ朝日村:飛騨あさひ観光協会 (<https://www.hidaasahi.jp> 2025.10.17閲覧)

桜の郷荘川:Enjoy! 荘川&飛騨～エリアの魅力をすみずみまで紹介します～

(<https://shokawa.site/aboutworks> 2025.10.17閲覧)

加子母:加子母道の駅(<https://www.kashimozanmai.com/> 2025.10.17閲覧)

白尾ふれあいパーク:岐阜の旅ガイド

(https://www.kankou-qifu.jp/spot/detail_1169.html 2025.10.17 閲覧)

南飛騨小坂はなもも:小坂町商工会 共栄会商店街・本町商店街

(<https://hida-osaka.jp/cominfo.html?an=hanamomo> 2025.10.17閲覧)

パスカル清美:ふるさと清見21 (<https://furusatokiyomi.jp/pascalkiyomi/> 2025.10.17閲覧)

東白川:道の駅 茶の里 東白川 公式サイト(<https://chanosato.qifu.jp> 2025.10.17閲覧)

政策のまとめ

問題点①

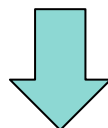
道の駅の立地間隔が狭く
商圈が被る



立地間隔の狭さを活かした
7駅共通政策

問題点②

情報発信、地域振興の
働きが脆弱



LINE、YouTubeにより
それぞれの魅力を発信

問題点③

スーパーや他の道の駅と
の差別化ができていない



強みのブランド化

政策の財源

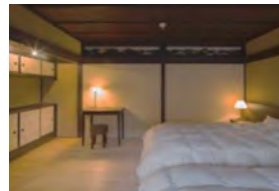
生活環境創生交付金

地方が自らの特色を活かして発展できるよう、自治体の創意と地域の協力による独自の地方創生の取組を国が支援する政策。

活用事例

地方創生拠点設備

活用事例	津山城・城下町泊プロジェクト
申請者	岡山県津山市
総事業費	17218万円



目的

歴史的な文化財や古民家を観光資源として活用し津山市の観光のブランディングを測ることで、観光産業の底上げによる地域経済の活性化する

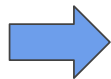
出典：内閣府地方創生推進事務局・地方創生推進室

「新しい地方経済・生活環境創生交付金について」p13 閲覧2025.10.20

補助金支援条件

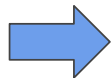
(補助金支援の条件)

目指す将来像及び課題の設定



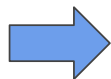
地域活性化

KPI設定の適切性



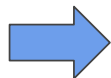
前年度比1.5倍の集客

自立性



ブランド化により自立促進

地域の多様な主体の
参画等の要素の有無

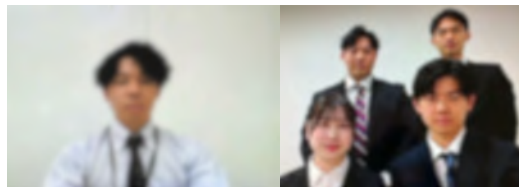


近隣の観光地・他の道の駅

出典:内閣府 地方創生推進事務局・地方創生推進室
「新しい地方経済・生活環境創生交付金について」p13 閲覧2025.10.20

ヒアリング調査結果

令和7年11月6日 zoom



<岐阜県 県土整備部 道路維持課 高橋様>

政策

SNSの運用した事例もあるため
政策として成り立つ

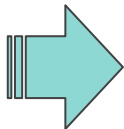
ポイント配布はシーズンを通した
来場者数の獲得につながる

財源

条件を満たしており、交付金の
活用が可能である



整備計画の必要性有



私たちの考えた政策は実現可能性がある



ヒアリングからの課題

運営側の課題

従業員の高齢化により SNS運用に不安があるため、解消していくべきである

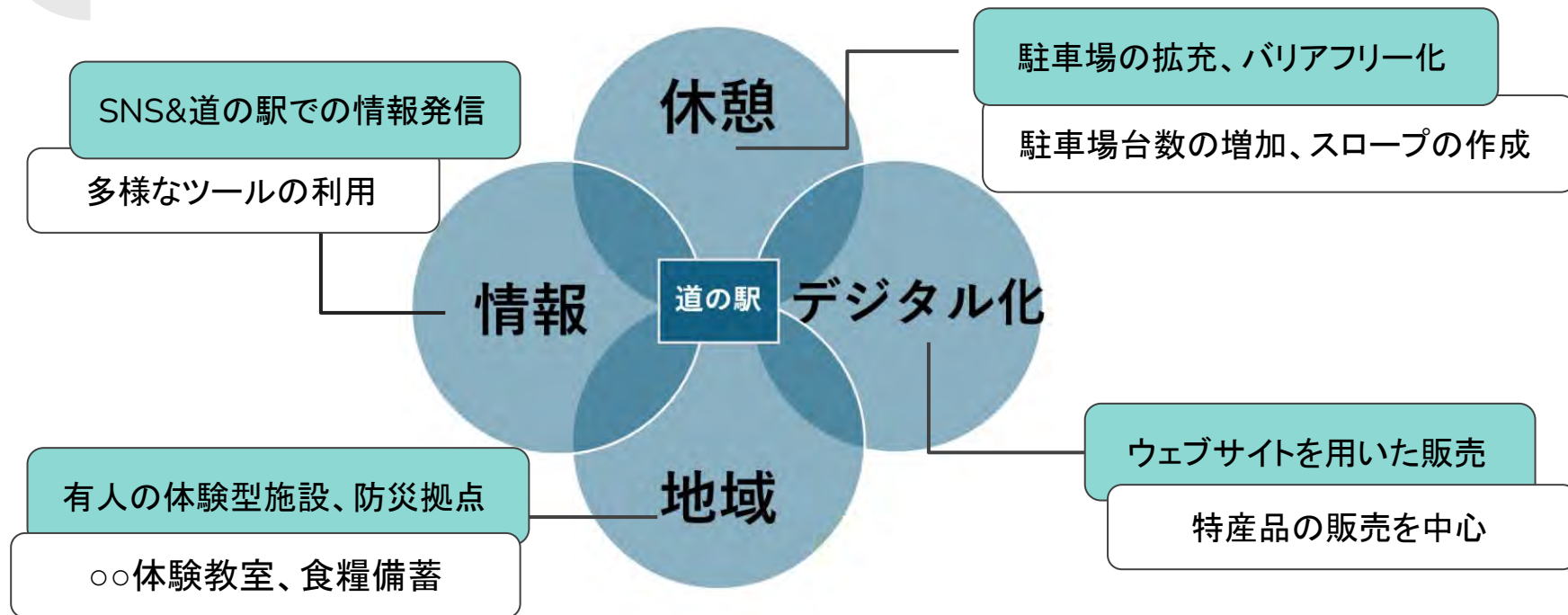
休憩機能の課題

道の駅をコミュニティバス等のルート内に含める、コンビニ型無人「道の駅」を設置

オフシーズンの来場客数の確保

選定した道の駅は山間部に位置しているため、冬季の対策が必要である

私たちの考える道の駅の未来





結び

- ・休憩機能、情報発信機能、地域連携機能を備える道の駅を使って地域振興を行うため、道の駅を再建するという政策を考案した
- ・今回提案した、SNSの運用・ブランド化の政策はヒアリングから実現可能性があると考えられるため、地域振興に繋げることができる
- ・しかし、運営側では高齢者のSNSへの適応させること
財政面では整備計画の作成が今後の課題である
- ・今後の政策としては、休憩機能の面からのアプローチが必要である

ご清聴ありがとうございました